

あいの



Vol. 38

令和元年7月発行



特
集

リウマチ・膠原病センター

(診療科紹介⑦)

お知らせ

就任医師紹介

活動報告

あいのまちの保健室

地域医療連携検討会

「リウマチ・膠原病センター」

この度、2019年4月1日『リウマチ・膠原病センター』を発足することとなりました。

リウマチ・膠原病疾患は、自己免疫疾患(自分の免疫が自身の臓器を攻撃、傷害してしまう病気)のひとつで、関節リウマチをはじめ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、シェーグレン症候群、強皮症、血管炎など約20種類の病気が存在します。

中でも一番患者数の多い疾患が”関節リウマチ”で、約120~150人に一人の割合で発症すると言われています。かつては、この病気を発症すれば、全身のあらゆる関節が痛みと腫れに襲われ、徐々に変形し、やがて寝たきりになってしまうという恐ろしい病でした。

しかし、2003年に生物学的製剤と言われる注射薬(点滴・皮下注射)が発売されたことにより治療が劇的に変化し、関節変形を未然に防げるようになりました。

現在(2019年)では、その生物学的製剤も8種類を超えるまでに増え、さらに整形外科的治療(関節内注射や関節手術)も組み合わせることで、関節リウマチは完治こそ難しいですが、日常生活の妨げにはならないようにコントロールできる(“寛解”を目指せる)病気になったと言われています。

一方で、治療や検査の複雑化、進行する高齢化などから、医療側の必要仕事量は膨大となりました。専門科の医師が一人で頑張っても到底カバーしきれないものです。

そこで、リウマチ・膠原病領域における“チーム医療”の重要性がヨーロッパ、アメリカをはじめ、世界的に提唱されるようになりました。その様な

流れに合わせる形で、当院でも

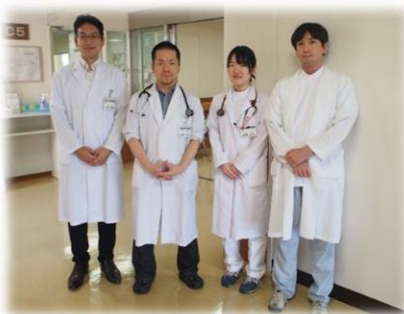
- ① リウマチ・膠原病内科
- ② 整形外科
- ③ リウマチケア看護師
- ④ リハビリテーション科

から成る『リウマチ・膠原病センター』の発足に至ることになりました。



茨木市内でチームとして、リウマチ・膠原病診療を行っている病院は当院のみであり、また関節超音波検査を『ケア看護師外来』で行っている病院は、日本の中でもほとんどありません。このような恵まれた診療環境の中で、その利点をできる限り患者さんへ還元すべく、より良い専門医療を目指し、今後ともチーム全員で協力・努力していこうと考えています。

また、リウマチ・膠原病診療に興味のある、院内スタッフの皆さんの参加もお待ちしております。



リウマチ・膠原病内科 (左から)

永井 孝治
斯波 秀行
佐野 友紀
小田 勝大



整形外科 (左から)

神原 清人
南 昌宏
池田 大輔



作業療法士
山岡 裕史

看護師
石橋 美佳
濱田 明彦

外来診療担当表

★は予約制です

曜日	月		火		水		木		金		土	
診療科	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
リウマチ 膠原病内科	-		永井	★ス波	小田	-	★永井	-	佐野	-	石田	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★リウマチケア 看護師外来	-

外来受付時間

午前 8:00~11:00
午後 12:00~

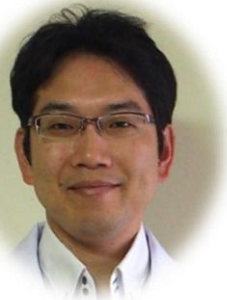
診察時間

午前 9:00~
午後 1:00~

就任医師紹介

本年4月より入職いたしました日外知行と申します。約20年前より大阪医科大学附属病院 一般・消化器外科に勤務しながら、外科の非常勤医として勤務させて頂いておりましたが、この度、常勤医として外科に勤務させて頂くことになりました。昭和63年大阪医科大学卒で、内科の吉田麻美先生と眼科の福原雅之先生とは同級生にあたります。消化器外科・末梢血管外科領域を中心に、柔軟な発想の元、個々の患者様に最適な外科治療を行うことを目標に、努力して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

外科 副部長 ^{あぐい}日外 ^{ともゆき}知行



リウマチ・膠原病センター
センター長 ^{ながい}永井 ^{こうじ}孝治

この度、大阪医科大学附属病院より当院へ勤務させて頂くこととなり、非常に有難く感謝致します。私の現在までの医師人生において、藍野病院は常に近い存在にあり、お世話になり続けていた病院であります。今回やっと、少し成長した状態で常勤となり、恩返しができるチャンスだと嬉しく思っております。本年4月よりリウマチ・膠原病センター、地域医療連携センターでの役割を頂戴し、今後は私の専門性を生かせること、また当院の重要な役割である地域医療への貢献に少しでも助力となれるよう、精一杯頑張りたいと考えております。皆様、何卒宜しくお願ひ致します。

本年4月より入職しました谷 裕基と申します。

これまで大学病院や一般急性期病院などで研鑽を積んで参りました。専門は脳神経内科ですが、一般内科も含め地域の皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。また、当院脳神経内科は大阪医科大学附属病院の関連病院であり、脳神経内科領域においては必要に応じ大学病院と連携し、より専門性の高い診療を目指したいと考えております。



脳神経内科 医長 ^{たに}谷 ^{ひろき}裕基



内科 ^{きむら}木村 ^{なぎさ}凧沙

本年4月より藍野病院に入職しました木村凧沙と申します。

平成29年に大阪医科大学を卒業し、大阪医科大学附属病院で初期研修を2年間経て、糖尿病代謝・内分泌内科に入局致しました。幅広い内科疾患の患者様に対応した治療を受けて頂けますよう努力して参りたいと思っています。不慣れな面もありご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、精一杯頑張りますので今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

地域医療連携検討会を開催しました。

令和元年6月8日(土)ザ・リッツ・カールトン大阪にて地域医療連携検討会を開催致しました。ご多忙の中、多くの先生方、医療機関の皆様方にご出席頂きましたことお礼申し上げます。

第一部の地域医療連携検討会では、当院職員より、当院の取り組みと現状および役割をお話しさせて頂きました。また、特別講演としまして、東京女子医科大学 東医療センター 准講師 石川元直先生より、地域医療ケアのあり方についてご講演頂きました。

第二部の情報交換会では、活発な意見交換をすることができ、当院にとりましてさらなる「顔の見える関係」が築け、大変有意義な会となりました。

今後も職員一同が「高齢者医療のモデル病院」を目指して、地域に貢献できる病院として充実をはかる所存です。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



あいのまちの保健室を開催しました！



第16回「あいのまちの保健室」を5月25日(土)、26日(日)に開催しました！

身体測定、健康相談、リウマチ検査、各種健康チェックをはじめ、認知症サポーター養成講座や特別講演会、なりきり撮影会等、たくさん企画させていただきました！

多数のご参加ありがとうございました。

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL : 072-627-7611(代) FAX : 072-627-3627

平日(月~金曜日)の20時までは救急患者様に対応できる体制を整えています。

発行：医療法人 恒昭会 藍野病院 発行責任者：杉野 正一 発行編集者：広報委員会 代表 岸川 浩也

ホームページ <http://www.koshokai.or.jp/aino>

メールアドレス aino-hp@koshokai.or.jp